

miratap

スロップシンク

アクレッタ

組立設置説明書

17-AQT01S-01

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。



商品の設置・組立て方法や使い方・保守・点検 方法およびメンテナンス方法を必ず確認してください。



本商品は一般家庭での使用を目的としたものです。公共および商業施設での使用はご遠慮ください。



禁止



実行



注意

お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



凍結が予想される際、寒冷地仕様の水栓の場合は配管と水栓の水抜き操作をしてください。寒冷地仕様以外の水栓の場合は水栓から少量の水を出したままにしてください。
凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。詳細については水栓の取扱説明書をご覧ください。



固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤・ヌメリ取り剤を直接使用しないでください。水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。つけおき洗いを行う場合は、バケツなどを使用してください。



化粧品の使用について、毛染液、マニキュア液、除光液などがついた場合には、必ず拭き取ってください。
変色・変形・破損の原因となります。



ボウルに規定重量以上の物を置かないでください。
商品の歪み・破損・落下の原因になることがあります。



湿度が高い時期に氷や井戸水をためて放置しないでください。
結露し、ボウルを傷める原因となります。



火のついた物（タバコ、マッチなど）を置いたり近づけたりしないでください。
こげあががつくおそれがあります。



ボウルが冷えているときに直接熱湯をかけないでください。
急激な温度変化でボウルが割れることがあります。必ず水をためてから熱湯を注いでください。



塩ビ系ゴム製品を放置しないでください。
輪ゴム、ゴムベラなどを長時間放置すると変色のおそれがあります。



排水口に直接熱湯を流さないでください。
破損や水漏れのおそれがあります。



横引管が逆勾配にならないように取付けてください。
排水能力が悪くなります。



ボウルに硬いものを落とさないでください。
ボウルが割れたり、破片でケガをするおそれがあります。



沿岸部や軒先など設置場所によってはサビ・退色・変形などが起きやすくなります。「2 設置前の注意・確認」をよくご確認ください。



水栓には、専用の取扱説明書が付属しております。必ずお読みになり使用上のご注意やメンテナンスを守り、正しくお使いください。



組立設置完了後は、がたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



凍結が予想される際は、ボウル内に水を溜めない状態にし、トラップのお掃除口から水を抜いたり、保温材を巻きつける等の、凍結予防を行ってください。



水栓を全開吐水しますと水はねで、周囲が濡れる場合があります。
水量が多い場合は止水栓を調整してください。



水栓から湯水を出しっぱなしにしないでください。
湯水があふれて大きな損害になる場合があります。



排水トラップに無理な力や衝撃を与えないでください。



ヘアピン、カミソリの刃などを放置しないでください。
サビが付着して取れなくなる場合があります。



金属たわしなどや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しないでください。
細かいキズが付き、光沢がそなわれるおそれがあります。



混合水栓をご使用の際は、必ず水から出してください。
やけどをするおそれがあります。



水道工事などは貴都市の条例に基づいて行ってください。



排水器具・排水管の取付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



給水給湯管の接続時に湯水を逆に配管しないでください。
火傷やケガをするおそれがあります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。



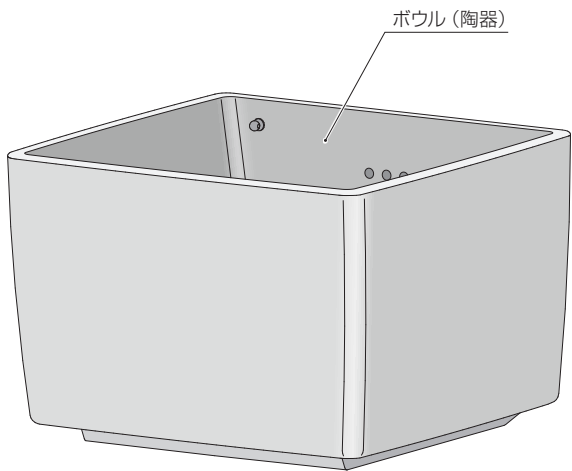
水道工事後は必ず、給水給湯を行い、配管接続部および給排水各部の水漏れがないことを確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。



ボウルの設置・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

1 各部の名称

◎アクレッタ

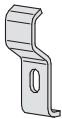
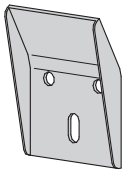


■耐荷重

耐荷重については、下記の重量をお守りください。
30kg まで

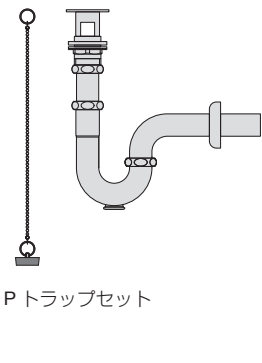
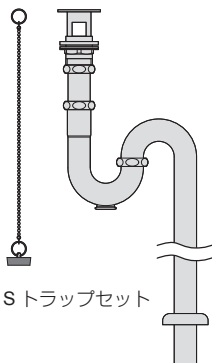
■同梱品

・バックハンガー：2 個 ・壁止金具：2 個 ・タッピングネジφ 6 × 50：8 本 ・座金：2 個



■付属品

・排水トラップセット：1 セット
(S トラップもしくは P トラップ)
※ ゴム栓も含まれます



S トラップセット

P トラップセット

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、梱包の養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

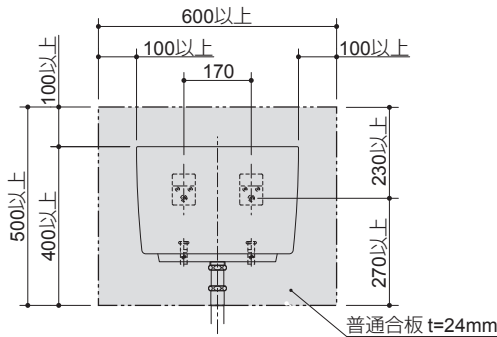
《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 取付用下地の位置および寸法（縦胴縁 90 × 90mm または普通合板 t12mm × 2 枚合計 t24mm 以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取付けてください。
※ プラスターボード裏に取付下地が入る場合は、12.5mm 以下のプラスターボードをご使用ください。
- 必要な給水給湯管・排水管・電気配線の位置および接続方法。
- 以下の環境では製品の劣化が早まるおそれがあります。
※ 軒先など雨が直接落ちてくる箇所への設置は、変色・破損が発生しやすくなります。（軒下への設置をおすすめします）
※ 塩害を受けやすい地域（沿岸部付近）や車の排気ガスを受けやすい場所への設置は、変色や腐食の進行が早まる事があります。

3 下地補強について

《壁下地補強範囲》



- ラワン合板などの硬い材質の普通合板 t12mm × 2 枚（合計 t24mm 以上）または、縦胴縁 90 × 90mm を壁面貼りしてください。（現場の状況により、十分な取付強度が得られるように取付下地を施してください）

4 設置手順

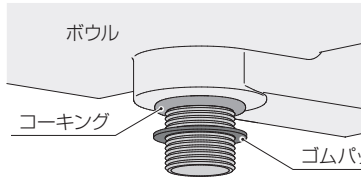
1. 排水器具の取付け（1）

- ボウルに排水バルブを右図の順に取付けてください。

※ 陶器と排水バルブのオーバーフローの穴位置を揃えてください。

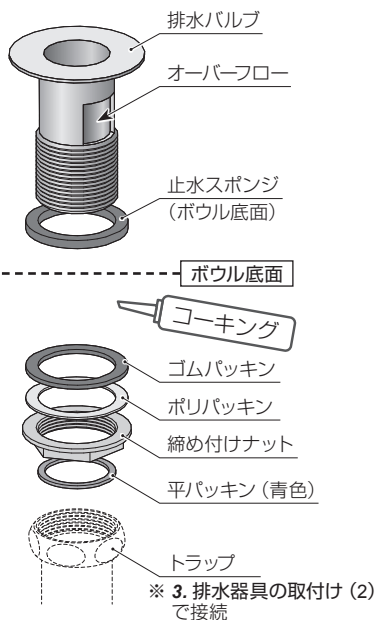
- ボウルとゴムパッキンの間のネジ部分にコーキングを塗布してください。

※ 水がネジを伝って漏れないように、必ず全周に塗布してください。



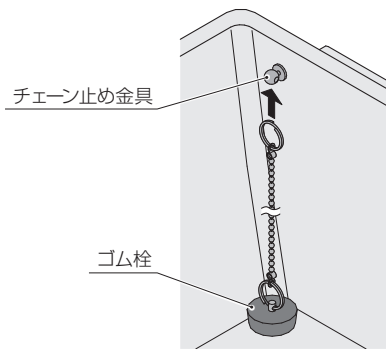
- 締め付けナットでパッキンを強く締め付けてください。

- はみ出したコーキングは、きれいに拭き取ってください。



3. 排水器具の取付け（2）

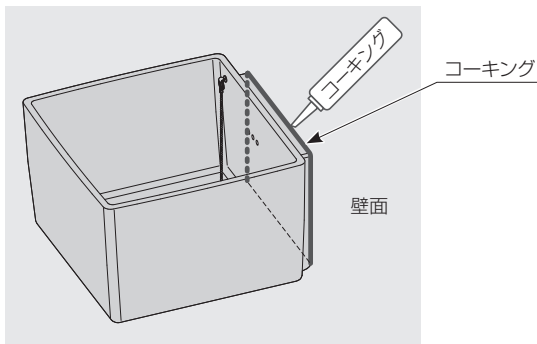
- ボウル側のチェーン止め金具にゴム栓を取付けてください。



- トラップを取付け、設備との接続を行ってください。

4. 仕上げ

ボウルと壁が接する上面と左右面の三方にコーキングを塗布し、背面に水が入り込まないように処理をしてください。



5 設置後の調整・確認

《各部の調整》

設置完了後は、本体のがたつき・緩み・傾きがないことを確認してください。

《設置後の確認》

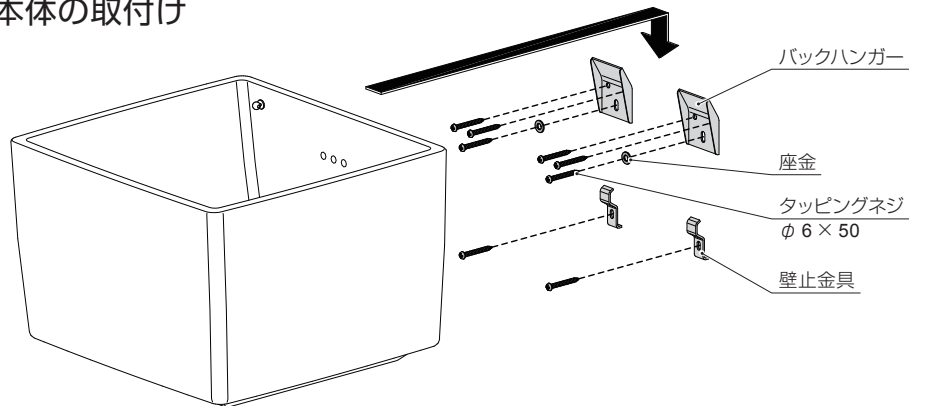
● 設置状況の再確認

- 排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
- 必ずボウルと排水器具の接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。

● 設置後のクリーニング

- 本体の汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

2. 本体の取付け

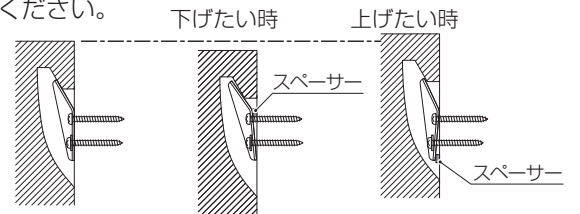


- バックハンガーの長穴部分の取付位置に下穴を開け、座金とタッピングネジ φ 6 × 50 を使用してバックハンガーを仮固定してください。

※ 同梱のネジで取付強度が保てない場合は、必要に応じてネジ・ボルトの現場手配をお願いします。

- ボウルをバックハンガーに掛けて、水平に設置できているか確認します。一度ボウルを外しバックハンガーの高さ調整を行った後、残りの 2 ヶ所も下穴を開けてからタッピングネジ φ 6 × 50 で固定してください。

- 追加で微調整が必要な場合は、バックハンガーと壁の間にスペーサー（ブリキ板等）をはさんで傾きを調整してください。

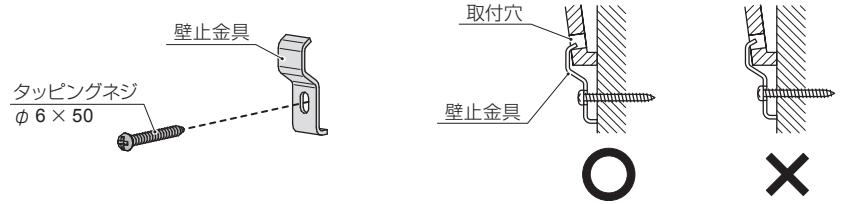


- 壁止金具の湾曲部先端をボウルの取付穴の下端にあてがい、下穴を開けてからタッピングネジ φ 6 × 50 で固定してください。

※ 下端を押さえることで、本体を引き下げる力が働きます。

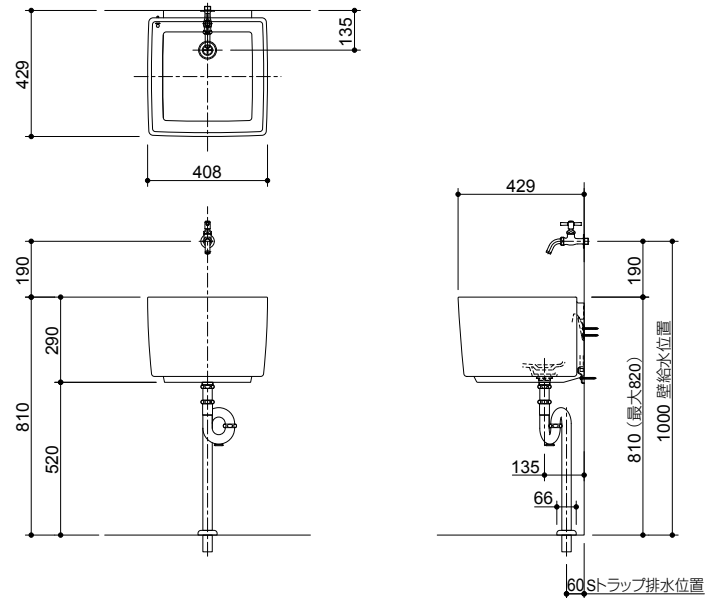
※ 同梱のネジで取付強度が保てない場合は、必要に応じてネジ・ボルトの現場手配をお願いします。

※ 壁が傷つかないように、ネジの締め過ぎに注意してください。

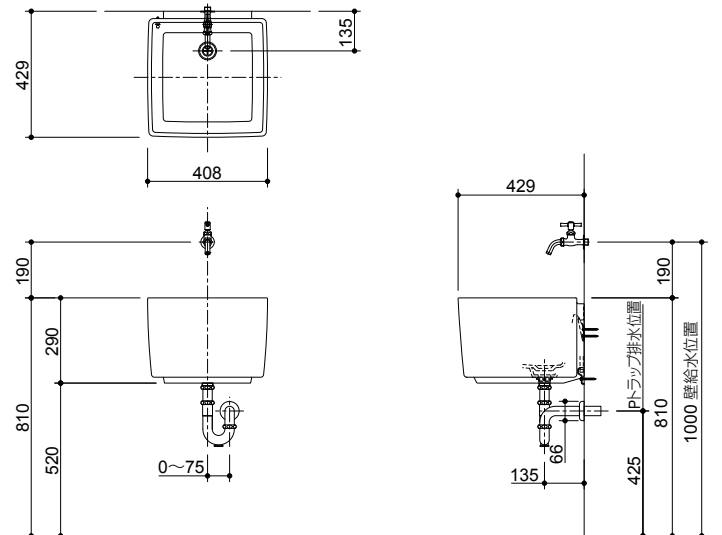


6 給排水位置

《Sトラップセット》



《Pトラップセット》



miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096

